

1 次の文章を読んで下の問に答えなさい。

この間、いただいたおはがきに、①お子さんの手で「そっさん」の絵が描かれていたでしょう。ピンクのサイペンの線が「一気に迷いなく走り、その勢いが魅力的でした。手のひらに乗りそうなサイ文なのに、ゆつたりとした大きさも感じられました。

そこに、画家の年齢が「3才」と添え書きされていました。そこから、うちでは「そっさん論争」が巻き起こったのです。

わたしが、見た途端に、②「これは絵を見て描いたんだろっね」といいました。もちろん、だから良くないかということではなく、吸った息を吐くように、(③)、そう思ってしまったのです。

「そっさん」の鼻や耳や目などを整理してとらえる力が、子供はなれしている。④それ以前に常識として、「そっさん」は、街の中を歩いていたりはない。一方、子供の絵本の中に、この鼻の長い動物は実によく登場します。

⑤好むと好まざるにかかわらず、日本の子供の、ほとんどが、実際の「そっ」を見る前に、描かれたそれを見てしまうのではないのでしょうか。

少なくとも、我々の頃は⑥そっでした。わたしが、上野動物園に連れて行ってもらったのは小学校低学年の時です。

となれば、それ以前に「そっ」の絵を見、それなりのイメージを持っていたことは確かです。

ここで、写真や映像ということまで考えに入れると、ことは複雑です。それはともかく、「他者による絵」という、表現された形を知らず、「本物のそっ」を、全くオリジナルな形で描いた子——というのは、わたしには、おおよそ想像できませんでした。

この発言は、我が家では当然のことながら、不評でした。天使のような三歳児の絵に、⑦「いちやもんをつけた悪人」のように思われたのです。

いや、子供を相手に勝てる人間はおりません、はい。

しかし、これはもちろん、「そっ」のことだけを言っているわけではありません。「そっ」を先入観なしに見るといえるのは、たとえばナイアガラの滝を、聞いたこともなしに見るような、おそろしくも、まだ、(⑧)するような体験でしょう。

しかし、我々が、⑨それ以前に「そっ」の絵を見てしまう——ということ、ほとんど避けがたい。いいかえれば、それは、「我々が、表現の伝達の流れの中に否応なしにいる」ということではないのでしょうか。

言葉も、そっやって身につけてくる。たとえば「秋」という一語が、どういつ鼻を持ち、耳を持つが、それを踏まえて、さまざまな作品が作られる。

そのことが、表現を豊かにするが、⑩紋切り型にするかは、まさに、作り手次第でしょうね。

【本執筆「たまには手紙を」(『朝日新聞』(夕刊)二〇〇七年七月二十四日刊)】

受験番号

氏名

問一 — ①「お子さん」のことは、文中で何と言いかせていますか。二つぬき出しなさい。

問二 — ②「これは絵を見て描いたんだろっね」と言った理由を二つ自分の言葉で書きなさい。

問三 (③)に入る言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 偶然 イ 平然と ウ 自然に エ 整然と

問四 — ④「それ以前に」とは何を指しますか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 子供の絵の上手さを論ずるより前に
イ そっの大きさや形のよさを言うより前に
ウ だれの絵を見たかを考えるより前に
エ 子供の年が三歳以上かどうかを話し合う前に

問五 — ⑤「好むと好まざるにかかわらず」と同じ意味の表現を、文中からぬき出しなさい。

問六 — ⑥「そっ」は、何を指しますか。

問七 — ⑦「いちやもんをつけた悪人」の悪人とは誰のことですか。

問八 第三段落に「そっさん論争」とありますが、どういう内容ですか。そっさんの絵について、家の人と筆者の意見を書きなさい。

問九 (⑧)にあてはまる語を次から選び、記号で答えなさい。

ア はらはら イ わくわく ウ そわそわ エ しみじみ

問十 — ⑨「それ」は、何を指しますか。十字以内で答えなさい。

問十一 — ⑩「紋切り型」の使い方として正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 紋切り型のあいさつをする。
イ 紋切り型の日常生活を送る。
ウ 紋切り型に模様を描く。
エ 紋切り型にカステラを切る。

一 次の記事を読んで下の問に答えなさい。

①悲惨な戦争写真を見たときに、私のなかにはいくつかの感情が同時に起こる。写真を見てみたい…という好奇心。見てしまったあと、見てしまったことへの罪悪感。罪悪感と同時に、その写真で傷ついている自分へのとまどい。ある種の恐れ。そして、その悲惨な出来事が自分に起こったことではないという安心感と、さらなる大きな罪悪感。そのような罪悪感を私に与えた介入者への理不尽な怒り。

まず、こうした②感情の渦が瞬時に起こる。

その感情の渦が平定されるのを待って、(A) 自分の内面へと踏み込んで行こうとするとき、私の中に湧き上がるのは猛烈な抵抗感だ。

私には子供がいる。その自分の子供と写真の中でケガをしている子供の姿がダブってしまふ。そのとき私は自分の子供が爆撃を受けてケガをしたら…という、ある妄想にとらわれる。否定もなくとらわれる。妄想はリアルティ(現実性)をもって迫ってきて、私はそのリアルティを受け入れがたい。③怖いのだ。ものすごく怖い。

それで、恐怖のために、もつそれ以上、写真の中のイラクの子供たちにシンクロする(注:重ねる)ことを避けてしまふ。避けようとする自己防衛の気持ちが働いて、写真に対していれなき嫌悪感を感じてしまふのだ。

私はなんて弱い人間なんだろうと思う。このようなことが自分の子供に起こったら…という恐怖感のために、④慈悲注(苦しんでやんでいる人をあわれむ心)までだとり着けない。

そして、慈悲の気持ちをもてない自分をまた責めるのだ。責めたところでしょうがないのだが、戦争写真を見て慈悲の心よりも、拒絶感を感じてしまふような自分に、また堪え難く、なんとかうわべだけでも取り繕おうとする。だから私は、悲惨な戦争の写真を見たいのに、見た後で後悔し、落ち込み、傷つく。

カンボジアの地雷原のある村に行ったとき、地雷で足を失った子供たちと出会った。あつとき、子供たちは私の目の前にいて、私と同じように生きて呼吸していて、触れることができた。子供たちに起こったことはあまりにも不条理でひどいことだっただけで、(B) 子供たちは私と同じように笑ってもちた、遊んでもちた。

あつとき、私は拒絶感も嫌悪感も感じなかった。あつときはとても素直に一人の母親になつて子供たちといつしよにいたることができた。リアルに力つてそういうことだ。

悲惨を訴える目的の写真を大量に見ることは、私の感受性を傷つける。写真には⑤とても大切な情報が抜け落ちている。人間は何があつても悲しいだけの存在ではない。もつと強く、もつと多様なだ。そのことの本質的な意味、命の本質的な力を、写真はやはり伝えることは難しい。

現実、もつともつと人を傷つけるけれども、救済もする。人間存在は複雑で、とつもない力をもっている。悲惨であるという⑥的な現実と、それでも生きようとする主観的な現実が同時に存在している。なにがあつても生きようとしてしまふ、人間の力の、命の本質を写真は伝えることができない。

爆撃で両腕を失ったイラクの少年の映像を、今朝も見た。その後で、これを書いている。⑦私はあの映像を受け入れがたい。あの少年を受け入れられないのではなく、一方的な情報と映像に傷ついてしまつている。

あの子は日本の私など知らない。私が一方的に毎日あの子を見ているだけだ。私は別世界からあの少年を見た。私は私の生きている範囲のなかで近所の子供たちと関わっているけれど、その範囲を超えて、私のなかにあの少年が入ってくる。映像の力で。それを⑧映像の力と人は呼んでいる。

それは科学技術が成し遂げたことだけれど、私の古い感受性は⑨その現実についていけない。世界はあまりにも広大で私のちっぽけな感受性が網羅するには無理がある。私の感受性は世界に向かつて引つ張られ押し広げられ、べらべらになつて引きつって破れそうだ。

みんな、自分の辛さを抱きしめて生きている。誰だつて。どんなに裕福で幸福そうに見えたつて悩みはある、苦痛はある。そして人はいつか死ぬ。

今日一日、生きた。そのことを褒めてくれる人がいない。それは悲しいことだ。この国で生きることのしんどさもある。私が体験しているのはまさにそのしんどさだ。よくがんばつたね。そう友達みんなに言いたい。今日も一日、よくがんばつて生きたよね。

私は私の生を生きている限り私の悩みで苦しむし、その苦しみを受けとめてもらふときに、他者への慈悲が生まれてくる。殴られ続けたら、責められ続けたら、傷ついて心を閉ざしてしまつたらう。

抱きしめて伝わってくる生きた⑩人間のぬくもりのなかから、見知らぬ誰かへの慈悲は芽吹く。世界へのゲート(注:入り口)は、(⑫) 命、私たちの「生死」のなかにあるはずだ。

(田口つた子『ぼつれとむすばれ』)

問一 — ①「悲惨な戦争写真」とは具体的にどのようなものですか。文中の語を用いて、十五字以内で答えなさい。

問二 — ②「感情の渦」とは感情がどのようなになっていることですか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア さまざまな感情が次々に現れては消える。
- イ さまざまな感情が一度に起こつて混乱する。
- ウ さまざまな感情が一つの感情に集約される。
- エ さまざまな感情がまづ二つに分かれていく。

問三 () A・Bにあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア それでも イ いくぶん ウ さらに
- エ だから オ あるいは

問四 — ③「怖い」とありますが、筆者は何が怖いのですか。文中の語を用いて二十字以内で答えなさい。

問五 — ④「慈悲までだとり着けない」とありますが、どうすると慈悲までだとり着けるのですか。筆者の考えに最も近いものを選び、記号で答えなさい。

- ア 戦争反対のために具体的な行動を起こす。
- イ 戦争の中でも思いやりの心で人々に接する。
- ウ 戦争写真を見たくないとはっきり拒絶する。
- エ 戦争の悲惨さにまづすくなく向き合つ。

問六 — ⑤「とても大切な情報」とは、どのような情報ですか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア どの子供にも家族がいて優しく見守っていること
- イ 戦争で現れる人間の本能的な残酷さ
- ウ 人がどんな状況の中でも持ち続ける生命力
- エ 戦争は地球の自然環境を破壊すること

問七 ⑥にあてはまる「主観」の反対語を書きなさい。

問八 — ⑦「私はあの映像を受け入れがたい」とありますが、なぜですか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア 悲惨な姿を平気で撮影した映像だから
- イ 歴史や政治的背景を伝えない映像だから
- ウ 少年の限られた側面しか伝えていない映像だから
- エ こちからは発信できない通信手段の映像だから

問九 — ⑧「映像の力と人は呼んでいる」にこめられた作者の気持ちに最も近いものを選び、記号で答えなさい。

- ア 自分にはよくわからないが、多くの人がそう呼んでいるので、多分そうなのだろう。
- イ 自分もそう思うし、そのことを多くの人が認めてくれているので心強い。
- ウ 自分はそう思わないし、多くの人がそう思っていることに批判的である。
- エ 自分はそう思わないが、多くの人がそう思っているのをそれを認めないわけにはいかない。

問十 — ⑨「その現実」とは、どのようなことですか。「映像の力」という言葉を使って説明しなさい。

問十一 — ⑩「人間」・⑪「誰か」は、それぞれ誰を指していますか。具体例を、文中の言葉を使って八字以内で答えなさい。

問十二 (⑫) にあてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 知ることのできる イ 触れることのできる
- ウ 想像することのできる エ 行動することのできる

二 次の記事を読んで下の問に答えなさい。

動物園では、類人猿^{えん}の係をゴリチン^{ゴリチン}がかりというそうだ。ゴリウ、チンペン^{ペン}を略してゴリチンである。ユーモラスな呼びかだ。そういうユーモアは①期せずして飼育者と動物との間に生まれるものらしい。よき交際には健康で明るい笑いがつきもののはずである。動物園のお客さまには動物が主役である。主役が見えるばかりで、飼育係の顔など見えはしない。それでいいのだし、自分の顔もたまには見てもらいたいなどと言つ飼育係は、一人もいないのだけれど、②私はそこ^{そこ}のところが大切なところだと思つ。私たちは③直接にゴリチンと交際はできないのである。人と動物との間に交わされた、ユーモアと哀しみと怒りと恐怖とを経験してきた交際を聴かせてもらいたいのである。「だしかにあんたゴリウに恰好^{かつごう}が似てきたね。歩く後ろ姿なんかゴリウの特徴^{ていしつ}はつきりしているものなあ」と言われて、「そうかなあ。自分じや気もつかないけれど、長年つきあつていつも見ているんだからなあ、似るのもうそじやあるまい」という素直さなのである。大概の人なら、「ほかにするないー」なんておれがゴリ公^{ゴリ公}なんだ、ふざけやがつてー」などなるところを、④ともあらんと思つて肯定しているのである。

私は話を聴こうとして、⑤ゴリチンのお郎^{おやう}に参上するように行きかけて、気がついてお客さんの顔をもう一度注意した。心を奪^はわれて、少し笑つたなりに見惚^ぼれている人、わあ？と何か思い考えつつ見ているらしい人、なんとか一ツからかつてみたいもんだという意^いぎのしたそうな人、等々であった。

飼育の人は謙遜^{けんそん}である。謙遜^{けんそん}といつか控えめといつか、とにかく動物について語るときなかなか用心^{しん}ぶかいのだ。何々であるとは容易^{ようい}に言わない。「と思つけれどー」と言つ。

「⑥ことは通じない生活も同じではないし、大概こんなところじやあるまいかと想像する程度しかわからないんですよ」と言つ。責任を逃^にげているのではなくて、現在の段階では⑦推察^{すさ}の域にとどまっているのだといつのである。だから「と思つ」という曖昧^{あいまい}は、実は正直率直^{しんじき}な言い分なのである。それにひきかえて自分の経験については、こつたつたといひ言いかたをする。「でしょう」とか「と思つ」とか「らしい」とかいつことはが会話にかなりたくさん使われ、断定語はほとんど経験による事柄^{じへい}だけに使われている。つまりこの点では、⑧ことはかなり神経^{しんけい}にまかく、正しく使用されているのだ。

この態度は誰かに似ているという気がした。それは⑨だちに似ていた。何の学問によらず何かを究めて行こうとする人たちは、「である」と「と思つ」をはつきり気をつけて使う習慣がある。飼育の人は学問をするために飼育を担当する気になつたのではないだろうが、熱心に飼育をしていることに、自然と「である」と「と思つ」とに厳しい区別をつけて話すことになつたのだろうか。私は飼育係を「である」で話す人ときめてかかつていたので、⑩だしなめられる思いがある。人間は動物に「である」すくめで対^{たい}えるほど、よく承知しているつもりなら不謙遜である。飼育係の「と思つ」は学問する人の態度をもつて語られている。

(幸田文『動物のそぎ』)

問一 — ①「期せずして」の意味を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 思いがけなく イ 時期を決めずに
ウ 一回で エ 自然に

問二 — ②「私はそこ^{そこ}のところが大切なところだと思つ」とありますが、筆者がそのように思つのはなぜですか。その説明にあたる一文の始めの四字をぬき出しなさい。

問三 — ③「直接」と同じ意味で「直」が使われている熟語を選び、記号で答えなさい。

- ア 直筆 イ 正直 ウ 日直 エ 直線

問四 — ④「ともあらんと思つて肯定している」にあたる部分の始めと終わりの四字をぬき出しなさい。

問五 — ⑤「ゴリチンのお郎^{おやう}に参上する」の言い方のユーモラスなところはどんな点が、説明しなさい。

問六 — ⑥「ことは通じない」とありますが、誰と誰が通じないのですか。

問七 — ⑦「推察」の文は文脈がどうなつて言っていますか。文中から二つぬき出しなさい。

問八 — ⑧「ことはかなり神経^{しんけい}にまかく、正しく使用されているのだ」とありますが、正しく使用されているとはどういうことですか。具体的に説明しなさい。

問九 ⑨に文中より適切なことばを入れなさい。

問十 — ⑩「だしなめられる」とありますが、「だしなめる」の意味を次から選び、記号で答えなさい。

- ア おこる イ ざげすむ
ウ しかる エ なためる

問十一 次のことわざに動物の名前を入れなさい。

- 1 ()の耳に念仏
2 蛇^{へび}ににらまれた()
3 ()の威^いを借^かる狐^{きつね}

四 次のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 ドキョウがすわっている。
2 ジェンシンな子ども。
3 タイシエウに親しまれる。
4 カンゼン道路。
5 野球にムチエウになる。
6 心によめる。